

(仮称) 軽米町長倉円子風力発電事業計画段階環境配慮書
に対する環境の保全の見地からの知事意見

1 総論

(1) 事業計画の検討及び見直し

本配慮書に対する環境の保全の見地からの意見を踏まえ、環境影響評価項目を適切に選定し、現地確認を含めた必要な情報の収集・把握を適切に行うこと。

それにより、環境影響の重大性の程度を整理した上で、環境影響を回避又は極力低減するよう事業実施想定区域を絞り込み、風力発電設備の配置等を適切に決定すること。

また、風力発電設備の配置等の決定に当たっては、環境影響の回避・低減を優先的に検討し、事業性を優先的に検討することがないように、その検討過程を方法書以降の図書に記載すること。

事業実施による重大な影響を回避又は十分に低減できない場合は、風力発電設備の配置等の再検討、対象事業実施区域の見直し及び基数の削減を含む事業計画の見直しを行うこと。

(2) 累積的な影響

事業実施想定区域及びその周辺には、既存及び計画中の風力発電事業が多数存在していることから、これらの事業との累積的な環境影響が懸念される。このため、同区域及びその周辺の事業について十分に情報収集した上で、本事業との累積的な環境影響について適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、風力発電設備の配置等を検討すること。

(3) 関係機関等との連携及び地域住民等への説明

事業計画の具体化並びに調査、予測及び評価に当たっては、関係市町村及び地域住民等の意見を踏まえること。

また、事業実施想定区域及びその周辺における関係法令等による規制状況を踏まえて、関係機関等との調整を十分に行い、方法書以降の環境影響評価手続を実施するとともに、環境影響評価法で開催が義務付けられている説明会を活用するなどし、地域住民等に対し丁寧かつ十分な説明や意見交換を行うこと。

2 各 論

(1) 騒音及び風車の影

事業実施想定区域周辺には住居が複数存在しており、施設の稼働に伴う騒音及び風車の影が生活環境に重大な影響を及ぼすおそれがある。このため、住居への影響について適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、風力発電設備を住居から離隔することなどにより、生活環境への影響を回避又は極力低減すること。

(2) 水環境

事業実施想定区域及びその周辺には、新井田川など河川が複数存在していることから、工事中の土砂及び濁水の流出等により、当該河川の水質（水の濁り）に影響を及ぼすおそれがある。このため、工事の実施に伴う水質への影響について適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、土工量を抑制し、かつ沈砂池を設置することなどにより、水質への影響を回避又は極力低減すること。

(3) 動 物

ア 事業実施想定区域及びその周辺については、コウモリ類が生息している可能性が高いことから、専門家から生体特性等を聴取した上で、より広範囲で生息状況を整理すること。また、コウモリ類の飛行距離及び移動の方向や、状況、飛行の高さなどを考慮し、バットストライクによる個体への影響を極力低減するよう、風力発電設備の配置や規模を配慮した適切な評価を行うこと。

イ 事業実施想定区域及びその周辺では、イヌワシ、クマタカ、オオワシ等の猛きん類が確認されているほか、ガン類・ハクチョウ類等の渡り鳥の移動経路になっている可能性がある。事業の実施によりこれらの鳥類に重大な影響を及ぼすおそれがあることから、複数の専門家から意見聴取した上で、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえて環境保全措置を講ずることにより、鳥類への影響を回避又は極力低減すること。

(4) 植 物

事業実施想定区域北部周辺の湿性の二次草地付近に一部自然林が認められ、湿性環境は特に希少植物が生育している可能性がある。このため、調査地点を多く設定し、現地調査により植物相や植生を把握した上で、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、環境保全措置を講ずることにより、これらへの影響を回避又は極力低減すること。

(5) 景 観

事業実施想定区域周辺には、青森県景観条例に基づく「ふるさと眺望点」である「階上岳山頂」及び「市民の森不習岳」等が存在することから、風力発電設備の設置により、これらの眺望点からの眺望景観に重大な影響を及ぼす可能性がある。このため、フォトモンタージュ法を用いて、主要な眺望景観への影響を適切に予測し、風力発電設備の配置等の検討を行うなど、眺望景観への影響を回避又は極力低減すること。

(6) 人と自然との触れ合いの活動の場

事業実施想定区域周辺には三陸復興国立公園や市民の森不習岳等の人と自然との触れ合いの活動の場が存在している。風力発電設備の設置により、これら活動の場の利用環境に重大な影響を与えるおそれがあることから、これら活動の場の利用状況等を把握した上で、適切に予測及び評価を行い、その結果を踏まえ、事業実施による影響を回避または極力低減すること。